

2002年(平成14年)3月25日 No. 1222

目次

活況に沸くロシアのIT産業	坂口泉	1
CIS・中東欧諸国通貨の為替レート		8
PR◆ロシアにおけるハイテク技術動向調査団参加のご案内		8

活況に沸くロシアのIT産業

はじめに

世界的にIT産業の不況が伝えられる中、ロシアでは、2001年にパソコンの販売台数が急増した。その結果、ロシア国内でのパソコンの生産を開始する外国企業も出現してきている。また、ソフト関連企業の業績も好調であった。2001年のロシアは、ITブームに沸いたと言っても過言ではない。本稿では、活気に満ちたロシアのIT産業の現状を紹介する。

1. パソコン市場の状況

(1) 販売台数

IDC、Gartner Dataquest、SKプレス等の調査会社がロシア市場におけるパソコンの販売台数を発表しているが、そのうちIDCとGartner Dataquestの数字を第1表で紹介しておく。IDCが発表する数字の方が常にGartner Dataquestの発表する数字よりも小さくなっているが、それは以下の理由による。

ロシアでは市場の約80%以上を国産のパソコンが占めているが、そこで使用されているCPUはほとんどがIntel社製のものである。このため、IDCはロシア市場でのパソコン販売台数を計算する際、Intelのモスクワ支社が発表するCPUの正規輸入量を算定基礎にしている。ところが、ロシアには、Intelのモスクワ支社が把握できない形で相当数のCPUが並行輸入されている。

IDCの数字は、この並行輸入分を全く考慮していないのであるから、当然ながら実態よりも少なくなる傾向が強い。Gartner Dataquestにしても、並行輸入分を正確に把握できているとは言い難いが、どちらかと言えば、同社の発表する数字の方が実態をより正確に反映していると言える。